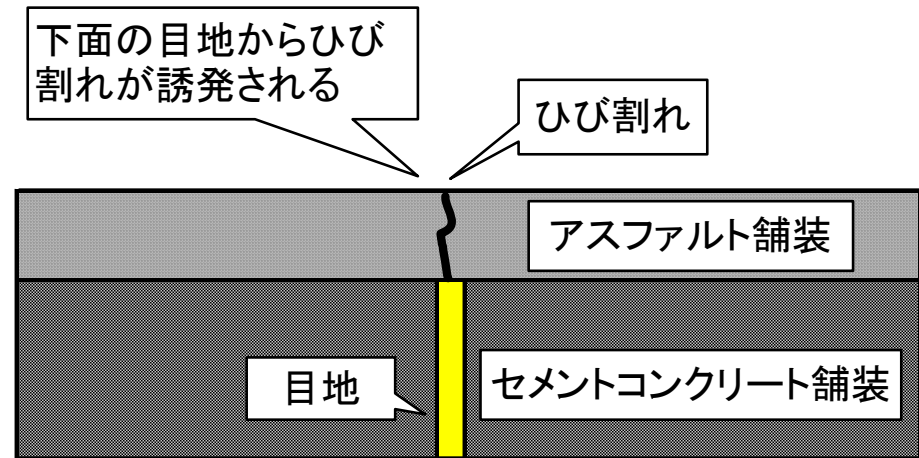


線状ひび割れ(横断方向)

リフレクションクラック



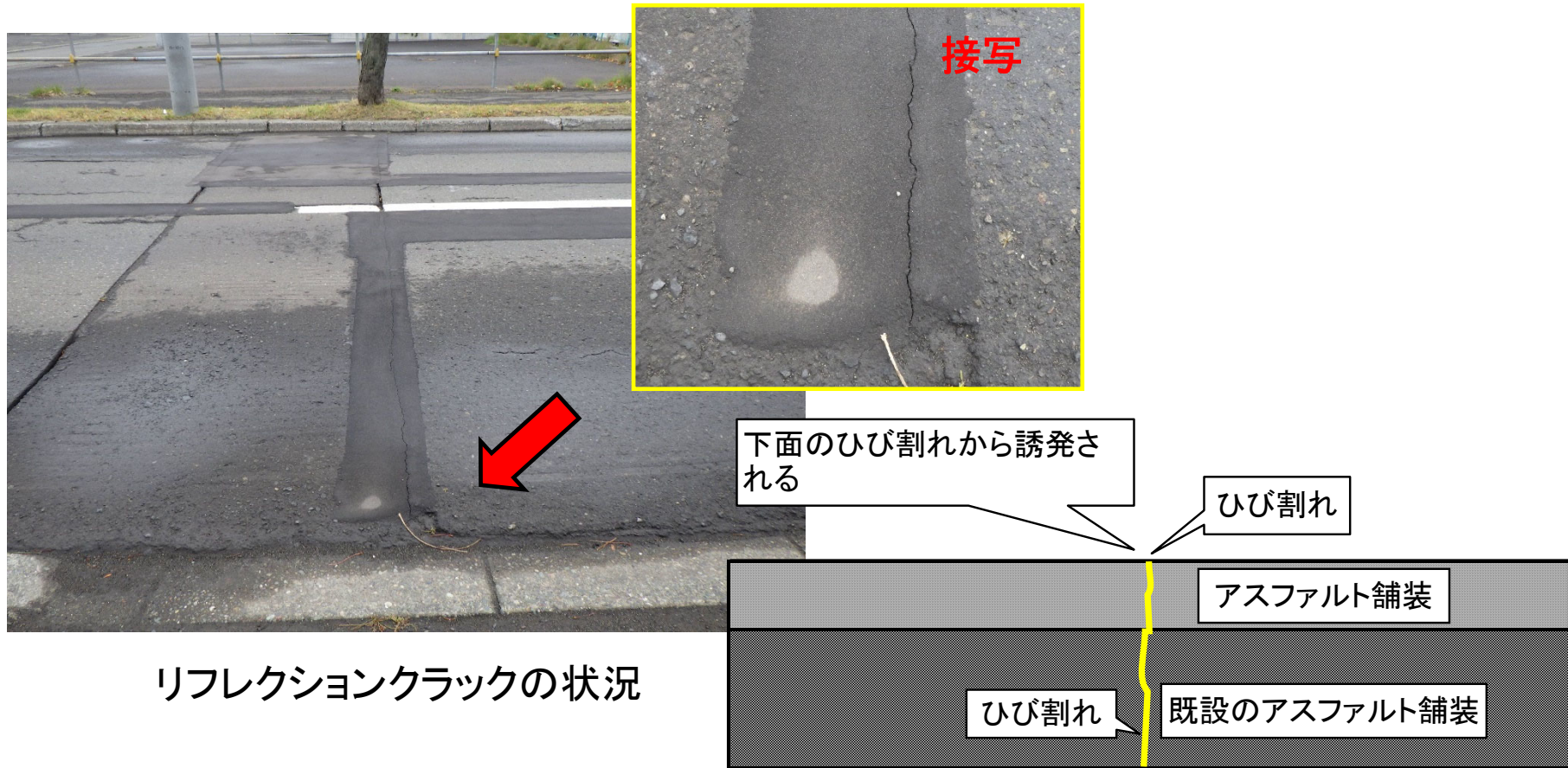
リフレクションクラックの状況



損傷形態

セメントコンクリート舗装の目地部に誘発され、上部部のアスファルト混合物層にひび割れが発生する。

リフレクションクラック



リフレクションクラックの状況

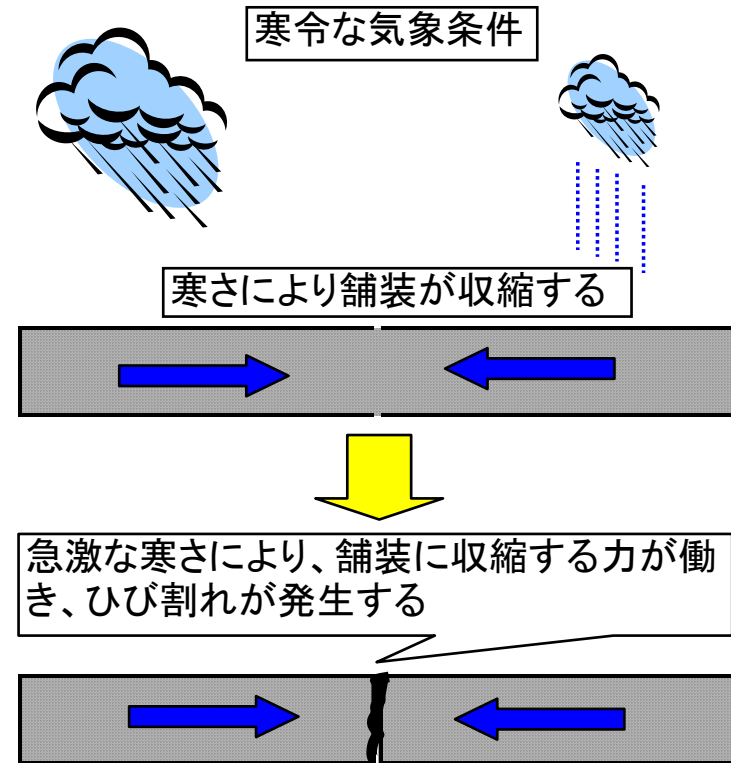
損傷形態

既設のアスファルト舗装のひび割れに誘発され、薄層等のアスファルト舗装にひび割れが発生する。

温度応力ひび割れ(低温クラック)



温度応力ひび割れの状況



損傷形態

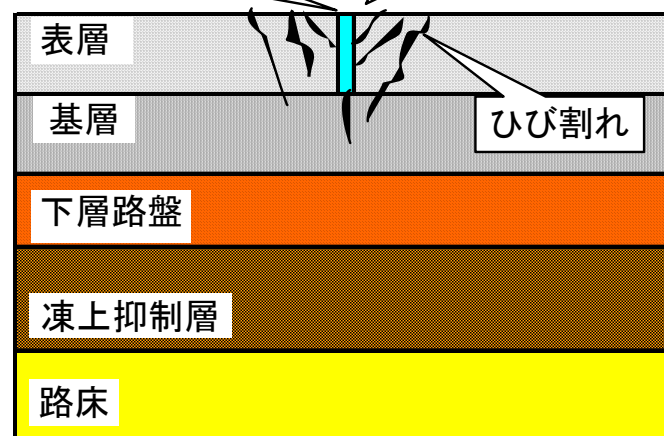
急激な温度低下に伴うアスファルト舗装の収縮に起因して、横断方向にほぼ一定間隔に発生する。温度応力ひび割れは、寒冷な地域に発生しやすく、アスファルト舗装厚が薄い箇所は厚い箇所と比較し発生本数が多い。

施工継目のひび割れ(横断方向)



施工継目部の接着不良により施工継目部が開く。その後、水分の浸入や凍結融解等の影響によりひび割れの発生やポットホールが誘発される。

施工継目の開口部



施工継ぎ目のひび割れ(横方向)の状況

損傷形態

施工継目の接着不良等により、継目に沿ってひび割れが進行する。進行すると継目周辺にひび割れやポットホールが発生する。